

松戸市シルバー人材センター

はつらつ松戸

「自主・自立、共働・共助」 第73号

会員数

男性 1,548人

女性 519人

2,067人

令和5年8月末現在

編集・発行

公益社団法人
松戸市シルバー人材センター

〒271-0043

松戸市旭町1-174

TEL 047(330)5005

FAX 047(330)5008

松戸市シルバー人材センター

ホームページ

<https://webc.sjc.ne.jp/matsudo/>

E-mail matsudo1@sjc.ne.jp

発行 令和5年10月1日



「趣味の世界」

燃えた能面たち

作者 物井靖久

凄いい、すごい！取材者が感嘆の声を連発する。男の武骨な指がスマホをなぞると、能面が次々に現れる。退職してから始めた趣味の成果だ。彫った数は？「忘れた！」なんで能面を？「初めはカメラで外歩きだったが、雨の日は困った」それで見つけたのが能面教室。はまり、すぐに気がついたら彫刻刀を振るつた。



た。た。

松材を彫り↓粗彫り↓仕上げ彫り↓ヤスリをかけ↓最後に彩色すべて手作業だ。最近は何？「やめた」え、なぜ？「燃え尽きた」何事も燃えてるときが花。その時期が過ぎると面倒になるのだそうだ。

ごつい指が微細に動き77歳の男の身内をみごと花園に変えた。花はあらかた人手に渡ったという。執着なき人生が一時執着した木の伝統芸。その薫りをせめて紙上にとどめよう。

いま、新しい風の中へ



理事長
石井久雄

会員の皆様には、日頃からご協力に心から感謝申し上げます。また、松戸市をはじめ関係機関や各事業所の皆様には、松戸市シルバー人材センターの運営にあたり、格別のご支援、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。去る6月23日に令和5年度定時総会が開催され重要案件につきまして、ご承認を頂きました。実質的に新年度がスタートしたことになります。気持ちも新たに今年、設立30周年を迎える当センターをどのように継続的に発展させていくか思考しております。初めに、人材育成は必須と考えております。職員には、講習会の参加、他市先進センター視察を実施する予定です。

6月1日に新人職員4名の方を採用して、新しい風が入り一段とセンター事務所内が活気づいてきたと実感しております。また、就業会員が不足している職種につきましては、松戸市職

業訓練センター(テクノ21)との協働による研修会を実施して就業会員の充実を図ってまいります。

更なる発展を目指して、時代の変化にも柔軟に対応出来るセンターを目指して、会員の皆様の就業ニーズの変化・職域開拓の促進や人手不足分野における職域拡大等、機能強化を図り、会員の皆様の就労に貢献して参りたいと思っております。

今後とも、松戸市シルバー人材センターの発展のため、会員皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

令和5年度定時総会報告

令和5年6月23日(金)午後1時シニア交流センター2階大会議室にて開催されました。

公益社団法人松戸市シルバー人材センター令和5年度定時総会

報告第1号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター令和4年度収支補正予算について

報告第2号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター令和5年度事業計画及び収支予算書等について

報告第3号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター令和4年度事業報告について

議案第1号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター令和4年度計算書類等の承認について

監査報告 監査報告書
議案第2号 公益社団法人松戸市シルバー人材センター定款の一部を変更する定款の制定について

議案第3号 理事の選任について

理事会報告

◆令和5年4月28日

正会員入会者の承認について

◆令和5年6月30日

正会員入会者の承認について

◆令和5年7月31日

正会員入会者の承認について

◆令和5年9月29日

正会員入会者の承認について

働くよろこび「趣味編」

“遊び”が歩いてきた!

金田樹義さんの流儀

この人にはこの題以外考えられない。それほど全身これ遊び



というのが第一印象。だが実態はさにあらず。三菱自動車の営業を22年、松飛台の資源リサイクルセンターで20年と手堅く仕事をこなして2年前、市民会館でのシルバー説明会にやってきた。大型免許の腕を買われ、即トラックのドライバに採用。「その場で2400円取られた」ヒツヒツと笑った武骨な顔が意外にかわゆい。

さてご趣味は?と紋切型で訊ねたら、可愛いなんてもんじゃない。出るわ出るわ芋づる式に遊びの話、は少々オーバーだが大別すれば釣りとかキャンプだ。どちらも30年のキャリアという。キャンプは友達が秩父の山奥に持っているログハウスを拠点に、飲み友達7、8人がたまに集まり、マキ割りし、金田さん手製のピザ窯でピザを焼き、飲み、冬はスキーに戯れる。

元を辿れば40代、松戸市内にあったスポーツジムのサウナで



の裸の付き合いから始まった。ジムって独り黙々やるものと思ってたけど、気が付いたら数人で近くの居酒屋に流れてました(笑)「深い付き合いじゃないです。ごく軽い付き

合いです。だから長続きしてるのかな」金田さんが飄々と語る友達づきあいの流儀、含蓄がある。

ジムは今はないが、残ったサウナと居酒屋が二つ目の拠点だ。そこで釣果が異彩を放つ。釣りと聞けば4時起きして平塚まで遠征し、鱈、鯖、鯛など、五日釣り”に興じる。千葉では木更津、大洗、浦安、行徳と地場特有の魚種を追い、最近では館山沖だ。鯖、鱈などいい釣果があると、居酒屋のマスターが捌いてくれ、釣り談義を肴に話の花が咲くという趣向。仕事のこと聞かないと、「実は初め数か月でいやになった。前は市川中心だったので松戸市内の地理が不案内、時間に遅れて職人さんに文句言われた。今は問題なし。早く着いて片付け手伝ったりして、気を付けて行けよなんて言われる。皆いい人

ばかり(笑)俺って人見知りだけど馴染みやすい性格なんだな”ヒツヒツと武骨な顔がまたゆがんだ。台東区谷中の生まれって言うってましたね。だから遊び好き？ってわけじゃないけど、でもなんか関係あるみたいないなヒツツ……

みた人？
金田さんってどんな人？
とても温厚な人！嫌な顔ひてとつせずいつも手伝ってて、皆のこともよく考えて本当に助かってる。さんそうだが、ドライバーの鏡のような人だよ。今後よろしく！左から和田、宮原、木村、小川、鈴木



マジック”いのち!!
大野晃さんの流儀

常盤平文化センターのある日、スマホ・パソコン教室。高齢女性にスマホの扱いを指導中の大野さんの大柄な姿が見える。シルバー10年目のベテラン講師だ。パソコンよりスマホ・タブレットの受講者増が最近の傾向。「IT学習から置いてきぼりの世代が多いですね。孫に聞いてもらうさがられるだけ」という新規受講者が毎月30〜40名、女性が8割という。ここはさながら現代の「駆け込み寺」だ。「35年



秋田で子供のころ模型飛行機作りで熱中し、飛行時間を競う大会で県1位、全国4位になった。父親からカードマジックを教わり、熱中したのもこの頃だ。このマジックが後年見事に開花した。いまや玄人はだして各地のイベントに引っ張りだこ。たまに種

間銀行、監査法人系に勤め、情報システムの企画導入や設計開発運用一筋でやってきました。ただ途中から糖尿病が仲間に加わって……まあ、病気になるのは大なり小なり人間に付きものの属性だ。もちろん仲良くしたくない属性だが。ただこの人趣味とは実に仲が良い。将棋大好き、たまに小学校へ将棋指導にも出かける。美術も好き、音楽も好き。とくに音楽はアマチュアのクラシックコンサートが好きという変わり種。時代小説も好きで特に女流作家がいいという。



「中世の魔女の武器はマジックの応用でした。宝塚歌劇団は松旭斎天勝のマジックの舞台がヒントで生まれたそうです」知識がマジックの様に飛び出す。そういうえば松戸奇術会クラブは日本でも有数のクラブらしい。会員は柏と並ぶ50名という大所帯で牽引役としても忙しい大野さんだ。街を歩いても電車に乗っても、絶えず新しい仕掛けのヒントを探るのが楽しい。もしかしてこの世の中、タネもシカケもあるマジックのように見えていませんか、大野さん。(山)

働くよろこび [新職員座談会編]



日時／8月15日(火)

13時30分～15時

場所／シニア交流センター

出席者(五十音順) 上田ひと

み(上)、河合佑輔(河)、

加美山由紀(加)、鴨志田

亮子(鴨)のフレッシュユ4

氏、職員の井上有希(井)

さん、司会の^①山崎修平(司)

の6名で、いざ出発進行!

^①司「ではざっくりばらんに、皆さん6月入社でまだ70日そこそこですが、お年寄りの中でのお仕事、面白いですか」(ワツと複雑な笑)

^②井「まだ70日か、皆さんもうベテランみたい!」(笑)

^③河「僕は地元八柱の出身。ドミノピザに就職したので

今新しい風が吹いている。猛暑続きの夏に疲弊した心を癒す初秋の風もだが、そればかりではない。ここシルバー人材センター事務局に、数年ぶりに入社した若い社員たちがもたらす新しい息吹がそれだ。今日はその4人の方にお集まり頂いた。目的は新人紹介だが異色の座談会版。この座談会自体が会報史上初の試みである。この試み果たして無謀か成功か、職員・会員諸兄のご批判を仰ぐ次第である。

すが当時全国180店だけで何年も出店閉店がなく経営が厳しかった。閉店候補の店長を命じられ、翌年千葉で売り上げトップ店になった」(エーッと驚きの声) マンションではなく、個人宅に狙いを定めたチラシ配りが効率よく、品揃えにも気を配った。ノウハウを身に着け、その後八柱、新松戸の新店オープンに立候補した。一時はドライバー40人も稼働した。「ピザ屋は不況に強いんですよ。震災

とかコロナとか」オーブン景気で一時残業代が30万もあった。彼のようなアイデアマンはこれからのシルバーに貴重だろう。「河合さんこんなに喋る人と思わなかった」と誰かの茶々で笑いがはじける。

^④司「次、上田さん」と指名しただけでまた笑い。よく笑う座談会で、この笑いが大敵だった。笑いが邪魔して話の中身が聞こえない。マイクの設定を軽視したのは大失敗だった。

^⑤上「宮崎は小林の出身です。3人姉妹の末っ子。上二人はまじめ。私だけはずれ。学歴なく就職できるのは美容師が一番と、両親の大反対を押し切って名古屋へ修行に。すぐ帰ったら地元の笑いのものになるな、と食いしばった」3年経ち、ある程度力をつけ、



美容師の資格も取得し、地元へ帰り10年美容師をした。その後、結婚。夫の転勤で流山に住み、出産と同時に専業主婦へとめまぐるしい。こ

のママさは自立心旺盛の表れと見たが案の定、子供が1歳を過ぎて働きたくなかった。

^⑥井「どうして松戸で就職を?」

^⑦上「美容師ってプライベートがあまりない。お客さんにどこへ行っても挨拶されるんです。こないだはどうも!なんて。ちょっとゆっくりしたくて流山以外で」と(えっそうと同意の声)「それに面接で子供の事どうするの? っていうも聞かれる。面接の時、井上さんに救われましたア(笑)」

^⑧井「私も小学校教師時代に銭湯で裸で挨拶されました(爆笑)、スーバーでも車でも、こないだ男の人とどちらへ?なんて。評判になるのってほんとにこまる(笑)」

^⑨上「今の職場は年齢の若い人が多いけど、みないい人ばかり!」とちよつぱりくすぐったい言葉も頂いたところで、「加美山さん?」

^⑩加「出身は茨城です。私、コンサートが好きで、そっちの方に職が得られたらと思ってライブ音響の専門学校へ行きました。テレビ関係のサウンドミキサーみたいな職も憧れたけど、職場体験の時、体力的に厳しいなと感じ、テレビ関係の事務に就職しました。でも仕事が不規則で休みも日曜日と祝日だけみたいなの。」

昔はライブ音響関係とか映画の照明関係なんて結構不規則で、ブラックめいてたなあ。それでも趣味の領域でみな好きでやっていた。不規則が楽しいみたいな倒錯したところがあった。司会者がニュース映画（今は誰も知らない？）の仕事に就いたころ（最初の東京オリンピックの年）はブラックから脱皮しつつあった時代で、加美山さんから音響なんて話を聞くと、時代は違うがとても懐かしかった。

司「でも音響が好きってなんで？」

加「子供の頃からライブが好きだったんです。あのわくわく感が好きで。」と加美山さんは言った。音響事務所に5年くらいいて、結婚して…「子育てで専業主婦も長くなりました。」

司「また働きたくなかった？うんわかる。主婦業も大変だからなあ」
井「私はやるよ、専業主婦。湧くようにお金があれば」と横からワルノリが入る。お金があれば誰だつてそうだろうと思っただが、皆うんうんと力強く頷いているので黙る。その一人、庶務の鴨志田さん。

岡山は津山の出身。北海道に憧れ、大学も北海道にした。北海道への憧れを聞きそびれたので後日電話でうかがった。

鴨「修学旅行ではまりました」

卒業後は岡山に帰って品質管理の仕事に就き、結婚。その間つくば市に転勤で来て1年半ほど勤め、松戸に永住のための家を買った。専業主婦歴7、8年。2人の子どもを寝かせた後に、独学で簿記2級まで取得したというから努力のたまもの。下の子供の幼稚園入園を機にハローワークでシルバーを紹介された。

「1番目に紹介されたのがシルバードだった。応募して

てるみたいだから早くした方がいいよと言われました（笑）。でも来てよかったです。すごく働き甲斐があります」

加「みんな優しいので凄く楽しい」皆のヨイショかと思っただが、でもなさそうだ。照れてつい「よくこんなところまで来たね」と口が滑ってしまった。心にもないことを言う司会者の悪い癖だが、みんな笑ってくれてほっとした。事実、各地から吸い寄せられるようにこのシルバーへ集まって

きて出会った。不思議な縁を感じないわけにいかないよ。ここで苦労話に振ってみた。皆さんから異口同音に出たのが「思ってたより電話がねえ」
「そうそう、鳴ってない時がないのよ」「仕事の依頼が多いけど、無理難題も言ってくる！」「お年寄りが多いね、長電話！」「昨日依頼の電話がきて、今日どうなった！とか」「バカヤロ

うって怒鳴られたこともあります（笑）」

「あつちにも

にもいい顔して、両方にいい顔笑」

「できないことはできないとはつきり言っているじゃないかな。言い方はあるけどね。お年寄り

は寂しいから電話の皆さんは天使のように見えるんだよ（笑）」

河「想像してたよりアナログ。お客様は皆さん人生経験を誇りにしてますから大変だと思わないでやっていこうと思います」

井「アナログな部分も大切です。今までは今まで。それ以外の部分は他のシルバーも参考にしな

きで出会った。不思議な縁を感じないわけにいかないよ。ここで苦労話に振ってみた。皆さんから異口同音に出たのが「思ってたより電話がねえ」
「そうそう、鳴ってない時がないのよ」「仕事の依頼が多いけど、無理難題も言ってくる！」「お年寄りが多いね、長電話！」「昨日依頼の電話がきて、今日どうなった！とか」「バカヤロ



加美山 由紀
茨城県稲敷市
・趣味・
アイドルのライブ



河合 佑輔
千葉県松戸市
・趣味・
早朝野球



上田 ひとみ
宮崎県小林市
・趣味・
1歳半の息子と
プラレール作り



鴨志田 亮子
岡山県津山市
・趣味・
子供を寝かせ
梅酒で晩酌

～ 事故報告 ～

- ◆令和4年度発生事故件数 8件
傷害事故件数 6件
(就業中5件 就業途上1件)
- ◆賠償事故件数 2件
- ◆令和5年度発生事故件数 10件
傷害事故件数 5件
(就業中3件 就業途上2件)
- ◆傷害事故件数 5件
(令和5年8月末現在)

配分金支払日

(令和5年)

10月13日	(金)
11月15日	(水)
12月15日	(金)
1月22日	(月)
2月15日	(木)
3月15日	(金)

(司会/文責 山崎)

から変えていけばいいですね」
司「良くも悪くもセンターの端境期に入社されたんですね」
井「子育てしながらリアルタイムでやってる人が入ってきました。初めてですよ！（笑）」
司「皆さんは新しい風です。自分たちで働きやすい職場を作るための風を起せばいい。そのために仕事の現場を見、講習会などにも参加して仕事の知見を広めていく。これ理事長も言ってますから、遠慮しないで楽しくやっていきましょう。今日はありがとうございました。」
なんかいい感じの座談会だった。笑いにつつまれたこの日、新しい風の気配を感じた。

単発作業班 紹介

「地域のお助けなんでも隊！
そんな単発作業班の班長副班
長の顔ぶれが一部変わりました。
ご紹介しましょう。



1班副班長

海老原 征志郎 石井 和江

メンバー：18名



班長

市川 譲二

全班統括



7班副班長

三好 元樹 中村 勝利

メンバー：33名



3班副班長

下村 よし子 横瀨 良子

メンバー：46名



2班副班長

齋藤 富子 坂田 セツ子

メンバー：34名



9班副班長

大前 アキ子 戸上 敏光

メンバー：39名



4・5・6
合同班副班長

高橋 礼子 鈴木 きよ 田口 信義

メンバー：59名



8班副班長

請井 敏裕 幸田 廣里

メンバー：38名



12班副班長

局 義信 伊吹 行正

メンバー：34名



11班副班長

熊谷 俊子 西村 鉄男

メンバー：34名



10班副班長

阿部 久兵 吉田 寿子

メンバー：22名



「草取りに鎌を持たずに行く人がいる。そもそも単発作業班なるものが解ってない」とのつけから手厳しい。ちょうど単発作業班会議が終わった直後で、その興奮の名残りか。班長という職務の苦勞、ご本人の地の優しさがおいおい伝わってきたのだが。夏場の依頼で多い草取りは単発班と除草班で棲み分けている。除草班は主に公共施設等の広い領域を機械で行い、単発班は一軒家の庭が主で個人の手作業だ。人数的には除草班58人に対し、単発班は357人と増えている。ご家庭の掃除や草取り、ごみ出し、電球や水道パッキンの交換、大工、エアコン清掃など簡便な作業が対象で家事援助的 성격がよく、誰でも参入できる。だが素人には無理な作業もあって、技能経験者が少ないのが悩みのタネだ。

単発作業班の現状を訊く

〜班長 市川 譲二さん

除草班が手不足の場合は単発班から員数を回すが、いつも技能者の人選に苦労する。「大工とか庭師とか会員にいろいろ報酬の面で折り合わず」と苦渋の表情だ。会員は一般にボランティア精神が旺盛で、仕事以外の事でも頼まれるとつい手を出す。家の掃除なのにエアコンのクリーニングを頼まれ、取付け部を壊して自腹になったケース。家具の搬出に失敗し壁塗り直して30万円の賠償が発生したケース。「仕事以外のことは手を出さな」といつも言ってる。その上最近ケガが多い。仕事上の自転車事故、やれテールに頭ぶつつけたの、段差で転んで捻挫したの、ケガすれば自分が困るし仕事にも穴が開く。「でもね平均年齢が年々上がって今75歳」と市川班長。別れ際いつも言う3つのナシを強調した。「事故ナシ怪我ナシ苦情ナシ。年一回の検診必ず受けよ」と。やはり健康第一ですね。肝に銘じました。

(訊いた人 山)

趣味の紹介

①故郷(滋賀県大津市)で個展

2班 近藤賢一

絵を描き始めて12年、個展を



3回開催すること
ができた。2
回目は身
近な人を
招いて故
郷で開催。
会場は、
高校の想
い出の通
学路にあ
り、両親が眠るお寺に近く、近
江八景の一つ瀬田の唐橋(勢多
の夕照)のエリアにある「ギャ
ラリー唐橋」です。これからも
人生を絵とともに。

②麻雀はツキが0%

9班 西浦博

麻雀はツキが0%が持論です。ついてる時は適当に大胆に、ついてる人には逆らわず。麻雀歴65年、達成した役満はスーカンツを除く14、併せて3千回くらい、8割が国士無双です。純正13面



待ちも2度あります。毎土曜、人材センターで開催する健康麻雀で一人で2卓を相手するのが特技です。

センターダイアリー

◆江戸川クリーン大作戦

5月28日(日) 参加者13名



江戸川畔のごみを回収しました!!

◆聖徳大学 看護学科の学生さんとの懇談

地域班3班 山本博之

7月10日(月) 聖徳大学 看護学科学生さんの授業の一環で、懇談会があり参加した。教室には学生さん3名が迎えてくれた。

今回の懇談会の目的は高齢者の生活の一端を質問形式で答えさせること。主な内容は以下の通り。

★日々の生活ルーティーンについては、6時起床、7時から交通誘導、その後はテレビ鑑賞、読書、シルバーの仕事での日々

であるかと答えた。6時起床は早すぎる!!との声。
★健康管理面については松戸市が発行している『ブレイク予防』のチラシを基に、自身の取組を紹介した。

★生きがい、働きがいについては「ありがたいございました」お客様の言葉と「頼りにされている」ことである旨、体験談を雑談を交え答えた。彼氏を作るのもよし、本を100冊読破するもよし、旅行をして開分を広めるもよし、資格試験にチャレンジするもよし。現在の自分と違った成長した自分になるように。1年後の再開した時を期待している!と告げて退席した。

賛助会員の皆様

残暑お見舞い申し上げます
令和5年度賛助会員の皆様

- ・有限会社 中田化成
- ・(株)TAKEUCHI
- 代表 鎌田昌枝
- ・松川産業株式会社
- ・傘木則夫
- ・伊藤司郎
- ・佐々木雅子

(令和5年8月31日現在)

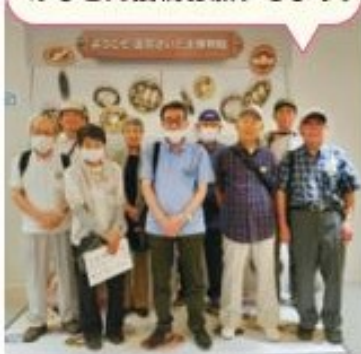
地域班ダイアリー

暑気払いと造幣局視察

コロナも5月8日以降新型コロナウイルス感染症に移行し、活動制限も緩和されて、地域班活動も再開できるようにになりました。まず、暑気払いを8月7日に実施。(25名参加)また9月11日に造幣局さいたま支局(12名参加)へ視察ツアーへ！会員間の親睦を深め、情報交換等ができて有意義な交流ができました。

(1班 村井行雄)

このような地域の集いの写真を随時募集します！
みなさん投稿をお願いします。



7月15日(土) 3班暑気払い

コロナ禍で中断していた3班の活動イベント「暑気払い」を、4年ぶりに実施しました。地元古ヶ崎市民センターの料理教室に17名が参加。メニューは素麺、地元農家の枝豆など夏野菜中心の料理を皆で調理し、美味しく

戴きました。懇談には大野晃さんが巧みなマジックを披露され、一層楽しい暑気払いになりました。

(3班 山本博之)



8月24日(木) 5班地域の集い

5班担当理事の佐藤恵子さんが赤飯を炊いてきてくれて、手作り総菜を囲み皆で会食。2時間たっぷり歌いました。



コロナがだいぶ落ち着き、皆で集まれる機会ができることに喜びを感じ、次は電車に乗ってどこか行きますよ、か？など会話が弾み、

笑顔がはじけました。

(5班 和田喜久)

楽しい暑気払いでした！



8月21日(月)八柱一心水産
地域班7班
参加者(敬称略)10名
瀧、大野、永多、千種、高橋、玉真、福田、中村、大内、三好

はつらつ松戸第74号

原稿募集！

会報『はつらつ松戸74号』発行についての協力依頼

当人材センター設立30周年記念号として特集「思い出や懐かしの歌・映画・旅行」を企画しました。11月末日までに事務局にお送りください。

思い出や懐かしの「歌・映画・旅行」について①何年頃のことですか。②歌なら曲名、映画なら題名、旅行ならどこか地名など。

③思い出やエピソードをご記入ください。尚、従来の1月発行は74号より2月1日発行に変わります。

11月28日(火)地域のつどいを開催します。詳細は同封チラシをご覧ください。(女性部会)

編集後記

久しぶりにユーチューブにアクセスしたら思わぬ収穫があった。それは黒人女性のペーシストでベラスでは珍しい弾き語りのエスベランサ・スボルディングである。それは某ライブハウスでの「オン・ザ・サニーサイド・オブ・ザ・ストリート」の演奏で実に惚れ惚れするものだった。更に驚いたのは聴衆の中に目を瞑ってノリに乗っているオバマ元アメリカ大統領夫妻の姿があったのだ。ある日、松戸のライブハウスにシルバーの友人らと集う元首相夫妻の姿が、いつか見てみたい初秋の夢です。

(吉田 編)

公益社団法人 松戸市シルバー人材センター



〒271-0043 松戸市旭町一-一七四
TEL0477-3301500
FAX0477-3301500
・月曜日から金曜日
午前8:30～午後5:00
・土・日・祝日及び年末年始は
お休みです。

※県立松戸馬橋高等学校を目印にあ越し下さい。
JR馬橋駅西口より徒歩25分 JR馬橋駅西口発(京成/バス)松戸駅行き 旭町下車3分